

学・会・近・況

日本南アジア学会 第24回全国大会プログラム

2011年10月1日(土)、2日(日)

大阪大学豊中キャンパス大学教育実践センター・大学会館

日程

第1日 10月1日

13:00～15:00 **自由論題 セッション1 人類学関連 (インド)** 座長・常田夕美子、國弘暁子

- 1 石井美保
南インドにおける近代法と「母系制」の再編
—アリヤ・サンターナ法とプータ祭祀の関係を中心に—
- 2 岩谷彩子
露天商政策にみるインド公共空間の変容
—アーメダバードの事例より—
- 3 飯塚真弓
バラモン司祭集団からみるヒンドゥ寺院政策
—南インド・チダンバラムにおける寺院管理権抗争(2000–2010年)を事例に—
- 4 江原等子
名指しの暴力
—インド、タミル・ナードゥ州チェンナイの第三ジェンダーの人々を事例に—
- 5 脇田道子
北東インドのトライブの自己定義に関する一考察
—モンパ・セミナーから—

**セッション企画1 Migration History around the Indian Ocean
World since the Seventeenth Century 歴史学関連**

代表者/司会・秋田 茂、討論者・向 正樹

- 1 Gwyn Campbell
The Indian Ocean World Slave Trade over the Longue Durée
- 2 島田竜登
The Slavery of the Dutch East India Company:
Batavia and Nagasaki
- 3 鈴木英明
Kuchchhī Bhatiyā's Activities and Their Networks in the 19th Century

4 山田協太

Considerations on Unfolding of South Indian Merchant Activities and
Formation of Port City Colombo: A Sketch of Organization and
Transformation of Urban Space since the 18th Century

セッション企画2 現代南アジアと英語文学・再考 文学関連

代表者・難波美和子

1 坂田貞二

ヒンディー語世界の暮らしのさまを英語世界に
—英訳を推進する作家と組織の願いと活動—

2 難波美和子

英語文学の中のインド英語文学

3 大工原彩、関口真理

若手インド人英語作家の現状報告

15:15 ~ 17:15 **自由論題 セッション2 人類学関連(ネパール)**

座長・森本泉、橋 健一

1 高田洋平

ネパール、カトマンズのストリートチルドレンの日常実践

2 渡部瑞希

カトマンズの店舗賃料高騰の背景にあるもの
—仲介業者、ダラルの活動を中心に—

3 岩間春芽

ネパール北西部農村における貧富
—貧困言説の広まりによる変化—

4 中川加奈子

商慣行にみるカースト間関係の再編成
—カトマンズの食肉市場をめぐるカースト間の交渉から—

5 森田剛光

歓迎される文化人類学者
—ネパール・商業民族タカリーの民族表象と政治性—

自由論題セッション3

座長・榎本文雄、石坂晋哉

1 矢野道雄

2011 年のアグニチャヤナ祭の報告
—祭壇構築幾何学を中心に—

2 梅村絢美

伝統医療のアーユルヴェーダ化
—スリランカにおける伝統医療の保護政策と制度化をめぐる—

3 平山雄大

現代ブータンにおける初等教育開発
—教育の量の確保及び質の向上を巡る諸問題—

- 4 須永恵美子
ウルドゥー語で語るイスラーム
—マウドゥーディーを中心に—
- 5 大田真彦、増田美砂
インドのウッタラーカンド州におけるパンチャーヤト林の
創出過程およびその管理実態

セッション企画3 Reorganization of States in India 歴史学関連

代表者・Gyanesh Kudaisya、井坂理穂

- 1 Gyanesh Kudaisya
'Beyond the Linguistic Principle' :
Revising the Politics of States Reorganization in India, 1953-56
- 2 井坂理穂
Memories of 'Martyrs' in Post-colonial Gujarat
(独立後のグジャラートにおける「殉死者」をめぐる記憶)
- 3 杉本 淨
Orissa & Oriya Identity
(インド独立後の州再編の動きとオリッサ州)
- 4 山田桂子
Andhra Pradesh and/or Telangana
テランガーナ分離運動の歴史と現状

自由論題セッション4 経済学関連

座長・福味 敦、小田尚也

- 1 水島 司
人口、土地利用の長期変動
- 2 上池あつ子
インド製薬産業の発展とクラスター形成
- 3 黒崎 卓
インド・デリー市におけるサイクル・リキシャとメトロ開通の経済効果
- 4 ヘーマンタ・プレマラタナ
The Impact of Informal Institutions on Agricultural Production and
Marketing: The Experience of Sri Lanka
- 5 チョウドリ マハブブル アロム
Globalization of the Islamic Bank: A Case of Bangladesh
(イスラム金融におけるグローバル化—バングラデシュのイスラム金融—)

17:30 ~ 18:30 総会

19:00 ~ 21:00 懇親会

第2日 10月2日

10:00～12:00 **自由論題 セッション5 歴史学関連** 座長・脇村孝平、志賀美和子

- 1 宮本隆史
看守のモニタリングと情報の流通
—英領期北西州の監獄制度の事例研究—
- 2 Kudaisya, Medha
'Three Moments' in the History of Indian Business:
The Challenges and Opportunities of Writing Business History
- 3 鴨澤麻衣子
パンジャーブ慣習法と Agnatic Theory (男系理論)
- 4 三田昌彦
ラージャスターン中近世の王都と城砦
- 5 小川道大
マラーター王国期のバルガナ内の流通ネットワーク
—19世紀初頭のプネー県インダプルバルガナを事例に—

セッション企画4 19世紀後半から20世紀初頭の地域社会における マルワリー・プレゼンス 人類学関連

代表者・中谷純江

- 1 中谷純江
分科会趣旨
—19世紀後半から20世紀初頭の地域社会におけるマルワリー・プレゼンス—
- 2 中谷純江
「故郷」への投資
—ダイアスポラ商業コミュニティ、マルワリーの経済活動—
- 3 豊山亜希
ハヴェリーからみたマルワリーと「故郷」のローカル社会の関係性
—視点・表象・伝統をめぐって—
- 4 小松久恵
質実剛健 or 享楽豪奢？
—1920年代北インドにおけるマルワリー・イメージをめぐる一考察—
- 5 三尾 稔
分科会コメント
—都市研究とシェーカーワト地域—
- 6 神田さやこ
分科会コメント—経済史研究の立場から—
- 7 総合討論
マルワリー研究の課題

自由論題セッション6 政治学関連

座長・上田知亮、北川将之

- 1 油井美春
インド・マハーラーシュトラ州におけるコミュナル紛争予防活動
—モハーラ・コミッティの活動による実証分析—
- 2 村田真一
戦後スリランカにおけるラージャパクサ大統領への集権化に関する
—考察：民族問題の解決への影響—
- 3 中西宏晃
1998 年以降のインド核政策に見られる継続性と非継続性
—信頼可能な最小限核抑止（Credible Minimum Deterrence）に着目して—
- 4 宮本万里
現代ブータンにおける地方選挙プロセスと村落社会の価値変容
- 5 板倉和裕
憲法制定とインド世俗主義の成立

13:00～16:00 **共通論題 イスラーム的世界としての南アジア**
—接触領域のダイナミズム—

討論者・小杉 泰、臼田雅之

- 1 二宮文子
ムガル期におけるイスラーム
—ペルシア語神秘思想文献を通して見るイスラームと南アジアの接触の様態—
- 2 北田 信
ベンガルのエクスタシー
- 3 子島 進
ユーナーニーの再興とヒンドゥーとの連携
—アジュマル・ハーンの試み—
- 4 川満直樹
南アジアにおけるムスリム財閥の事業継承について
- 5 山根 聡
現代南アジアにおけるムスリム急進派